



美ら島沖縄総体2010

「晴天届く君の風みなぎる闘志が夏に輝く」を大会スローガンに、美ら島沖縄総体2010(平成22年度全国高等学校総合体育大会)が7月28日から8月20日の期間、県内各地で開催されました。西原町では女子バスケットボールが町民体育館を主会場として実施され、8月3日まで熱戦が繰り広げられました。

女子バスケットボール競技には各都道府県の代表59校が出場。主会場の町民体育館をはじめ西原町・南城市・南風原町の5会場で開催され、沖縄県勢では那覇高校が3回戦進出。地元の大応援を背負い、スピード豊かな全員バスケットで2勝を挙げ、大会の序盤をおおいに盛り上げました。

熱戦が続いた大会を制した札幌山の手高校(北海道)は、北海道勢初の全国制覇を成し遂げました。また、中村学園女子高校(福岡)では県出身の安間志織さんが1年生ながらもエースとしてチームを牽引、準優勝に導きました。

また、女子バレーボール(那覇市主会場)は8月5・6日の両日、町民体育館と西原高校体育館で予選グループと1回戦が行われました。今回は沖縄で初めての高校総体。全国各地から選手や応援団が駆けつけ、連日たくさんの方が会場を訪れました。また県内外の関係者や町民、地元の高校生も多く、役員が運営に携わり、大会を成功に導きました。

▲3回戦まで勝ち上がった那覇高校。



▲女子バスケット優勝の札幌山の手高校(北海道)。北海道勢初の全国制覇を成し遂げました。

ハイライト



▲県出身の安間志織さん(中村学園女子高校・福岡)。1年生ながらガードの主力として活躍し、見事チームを準優勝に導きました。



バレーボールも熱戦!



トピックス

裏方でも高校生が大活躍!!

多くの関係者が運営にたずさわった美ら島総体。その補助員として県内の高校生が配置され、会場内外でたくさんの高校生の働く姿が見られました。彼らの活躍なくして、美ら島総体の成功はなかったでしょう。役員・補助員のみならず、お疲れさまでした。



大会閉幕後に集まる役員、補助員。たくさんの方が運営をサポートしました。

▶スムーズなゲームの進行に一役



◀閉会式で選手を誘導



▶選手や役員へ飲み物を用意してくれました



◀町民体育館駐車場では町内の4事業所がテナントを出店、全国から来場した方々に町内産品をPRする機会となりました。



◀町中央公民館ではパブリックビューイングを実施。ホールの舞台上に大画面が設置されました。決勝戦は体育館に入りきらなかった多くの方が訪れ、試合を見守りました。



◀西原高校マーチングバンド部が閉会式で披露した演舞に、大きな歓声が送られました。

▶西原町実行委員長の上間町長から、準優勝チームへメダルが授与されました。

